

三浦アルプス山行報告

【山行日】2023年 1月 15(日) 曇り

【集 合】岩舟支所P AM 5:00

【費 用】マイカー1台 : 4,000円

【メンバー】CL:鈴木ユ、飯口、植竹、
大塚、鈴木ミ、福島

【コースタイム】岩舟支所P5:00=葉山町コイン

P6:50/7:00~仙元山登山口 7:30~仙元山

7:50/8:00~観音塚 8:40~連絡尾根の頭

9:30/9:40~鉄塔下 10:00~乳頭山 10:30/10:45~

森戸川林道 11:50/12:25~葉山町コインP

13:15/13:20~鈴木水産 13:50/14:10=岩舟支所P16:40

、2021年、2022年と三浦アルプス山行を計画したが、新型コロナの緊急事態宣言で中止を余儀なくされた。3度目の正直で実施出来、喜び勇んで岩舟支所に向かうと、SLからTELがあり「車が故



障してキャンセル」との連絡が入る。6名で岩舟支所を4時に出発し、佐野藤岡 IC から東北道へ入る。その先、首都高速道川口線から中央環状線、湾岸線を走り、横浜横須賀道路を通り厨子 IC から逗葉新道で葉山町に向かう。料金所を出て直ぐのトイレに寄り、トイレを済ませてからコインパーキングに着くが満車で止められない。仕方なく次のコインパーキングに向かうと、500m先に広いコインパーキングがあり無事止められた。支度を整えストレッチを行って出発する。県道27号線を西に向かって

歩き、長柄交差点を左折して葉山市街に向かって進む。葉山隧道手前の Y 字路を右に進み、木の下交差点の左側に三浦アルプス登山口の案内板が立つ。案内板に従って左に急坂を登り、葉山教会の先から山道に入る。平坦な道を進むと視

界が開け、仙元山への急な登りが現れる。急な木の階段を登ると仙元山山頂に出て、相模湾が目の前に広がり展望が素晴らしい。

晴れていれば富士山が望めるが、あいにく曇り空で富士山は拝めなかった。小休止して衣服調整を行い、トイレがあるので済ませてから出発する。ここからは木の階段を下り、鞍部からは木の階段の登りとなる。アップダウンを繰り返しながら尾根上を進み、祠が置かれた観音塚のピークで休憩を取る。



○ 塚さんの温かい甘酒が出され、菓子やゼリーと一緒に美味しくいただく。アップダウンを繰り返し尾根上を進むが、分岐が多く分かりにくい。分岐には小さい案内標識があるので、確認しながら慎重に登って行く。ウバメガシやスダジイ等の



照葉樹の道で、リスなどの動物も見られとても楽しく歩ける。南尾根やラクダ尾根等の名前が付いた尾根を進み、鉄塔が建つ茅塚のピークから大きく左に曲がって登って行く。笹の間の狭い道を進み、三国峠から左に急坂を登ると本日の最高峰乳頭山山頂に着く。山頂の東側が開け、横須賀港や横須賀市街、横浜ベイブリッジやランドマークが見渡せる。展望を楽しみながら大休止し、リンゴや菓子をいただき疲れた足を休める。ここからは西

に向かって中尾根を下り、一つ目の鉄塔を過ぎると展望が良いヤセ尾根を緩やかに進む。展望を楽しみながら2つ目の鉄塔を通過し、小ピークを下ると斜め十字路に出てここは直進する。さらに尾根上を進むと十字路に出て、左から来たグループに道を尋ねられる。二子山へ向かい

たいようだが、反対方向に来ているので戻ったほうが良いと言ったが、戻るのは嫌だと我々と同じ中尾根を下って行った。中尾根を下って行くとやがて森戸川出合いに出て、左にほんの少し進むと森戸川林道に出る。林道から左に登った広場に行くと、先客の女子パーティーがブルーシートでランチを食べていた。挨拶して奥の丸太や木の根に腰かけ、お湯を沸かしてカップ麺やスープを作りランチタイム。唐揚げや味



付けタマゴ等が並び、豪華なランチをいただいた。ランチが済んだら森戸川林道を下り、住宅地を抜けると県道27号線に出る。県道を左折し10分ほど歩くと、車を止めたコインパーキングに着く。靴を履き替えたら車に乗り、三浦市の鈴木水産に向かう。国道134号線に出て南下し、引橋交差点を左折すると直ぐに鈴木水産に着く。駐車場は満車で、係員に誘導され地下駐車場に車を止める。店内に入ると大勢の買い物客で賑わっており、我々も20分間ショッピングタイムを楽しむ。安くて新鮮な魚介類が並び、皆さん発泡スチロールの箱や大きなレジ袋を持っていた。買ったものを車に積み込んだら帰路につき、三浦縦貫道路から横浜横須賀道に入り往路に戻る。首都高速道や東北道は渋滞も無く順調に走り、予定よりも早く岩舟支所に帰着出来た。